

市郡下の労働組合は

勤労署から覗くその動向

終戦後あらゆる部門に亘りあらゆる束縛が過去のものとして解き放たれ、民主化の一歩に向ひたゞひたむきの前進が續けられてゐる、殊に労働部門に於いて激しい色を示してゐる、過去の働くものには余りに冷淡な制度が押しつけられ通して來たが今はそれもまつたく終戦と共に過去の思ひ出となり、新に労働組合法の誕生により大きな力が與へられて來た、これに伴ふて労働組合運動は俄然活潑化して來た、必然的に常磐炭田といふ大きな労働力を包有する石城地方には雨後の筈の如く組合が生れつゝあるがさて現在生れ出た組合はどの位あるか、平勤労署を通じて眺めてみることにする。

断然多い炭礦關係

未だ生れぬのは漁業關係組合

現在までに結成をみた労働組合

人 女一六九人

金穀漁業三、男一〇二人

二五人

事務關係三、男八七人

女一六二人

金穀維業二、男九四人

女二七人

木工業一、男八七人

女一七人

其他二、男七五一人

女七

金穀漁業二、男九四人

女二七人

木工業一、男八七人

女一七人

其他二、男七五一人

女七

金穀漁業二、男九四人

女二七人

木工業一、男八七人

女一七人

金穀漁業二、男九四人

女一七人